

環境にやさしい素材、廃材を使った作品とワークショップ

環境アート 作品展

2025

3/15 土 - 3/16 日

10:00-15:00

あつたかホール1・2F

参加費
無料

＆ワークショップ

イベント参加で
桑都バイポイント
20ポイント進呈

展示作品

- ① アルミ缶クラフト（金鹿工具製作所）
- ② 生分解性プラスチックを使った光のアート
(聖徳学園中学高等学校美術部 & 鉄道研究部)
- ③ 工業用廃材のアップサイクル
(女子美術大学共創デザイン学科)
- ④ ゴミ弁当屋 (ビーコンコミュニケーションズ株式会社
Publicis Groupe Japan/Beacon Communications K.K.)
- ⑤ 廃材アート作品 (東京デザイン専門学校)
- ⑥ 人も地球もハッピーな○○
(北野学童保育所のこどもたち)
- ⑦ 多摩の木の家具・木工品
(八王子現代家具有工芸学校)



ワークショップ

3/15・3/16

① アルミ缶クラフト 要予約

(金鹿工具製作所)
アルミ缶で折り鶴、ちょう、クワガタ、
カブトムシを作るよ！

詳細
お申込みは
こちらから



② キューブキャンドルづくり 予約不要

③ ラッコルタ-創作素材ラボ-～創造素材で絵を作ろう～
(NPO法人アーティスト・コレクティヴ・フチュウ)

3/16 予約不要

- ④ 生分解性プラスチックで光るアート
(聖徳学園中学高等学校美術部)
- ⑤ もったいない精神で作る楽器作り＆演奏会
(あるもんで音楽する～Almonde Musica)



主催

クールセンター八王子(八王子市地球温暖化防止活動推進センター)

運営団体:特定非営利活動法人エヌピーオー・フュージョン長池

後援 八王子市教育委員会

〒192-0906 八王子市北野町 596-3 あつたかホール 2 階

042-656-3103 042-649-2118

zerocarbon@coolcenter802.net

<https://coolcenter802.net/>

お
問
合
せ

受付時間:9時~17時※日・月曜日、年末年始を除く

お問い合わせは、電話、
FAXまたはE-mailで
クールセンター八王子まで



クールセンター八王子HP



アーティスト紹介



あるもんで音楽する ～Almonde Musicaさん

環境問題の筆頭に挙げられるペットボトルだけど、安全な水を大量に安価に運べるようになったおかげで何万というアフリカの子どもの命が救われてるって知ってた？
要らないモノも要らない人も生まれてないんだよ。
たった一回口をつけただけでゴミになるペットボトルと環境の敵CO2でこんなにも癒しの音色の楽器が割れちゃう
大切にしよう、モノも人も。



聖徳学園中学高等学校美術部 & 鉄道研究部のみなさん

美術部で地球に優しい生分解性プラスチック、手びねりプラスチックで森を制作しました。
それぞれの木は光っていますが暮らしの灯りを表しています。木が集まると森になるように、灯りがたくさん集まると活気のある町になります。
この作品は自然と暮らしをテーマに考えました。

協力：TFabWorks（ティー・ファブ・ワークス）

鹿田 実さん 金鹿工具製作所

金切鋏専門メーカーに勤務の傍ら、アルミ缶クラフトの普及活動を行っている。



弊社製造の鋏・工具でつくるアルミ缶折り鶴づくりは、アルミ缶を切って折つてつくる金属切り折り紙です。
都内の各小中学校で金工教材として注目を集めています。
主な活動は各種環境フェアのイベントに出展、ワークショップなど、また小中学校のものづくり学習授業の講師も務めています。



東京デザイン専門学校 クリエイティブアート科のみなさん

ジャンクアート「廃棄物を利用した半立体作品の制作」

アート作品の制作ではキャンバス、絵の具、粘土等の慣れ親しんだ素材を自明なものとして選択する場合が殆どですが、時にそれを疑い、積極的に他の材料を探してみることが、意外な発想や表現の幅を広げたりと、クリエイティビティを高めることに繋がります。環境問題を考えることも現代のアーティストの重要な課題です。美術品の輸送や保管も社会問題になっており、これからは作品制作から保管までしっかりと責任を持たなければなりません。クリエイティブアート科は、表現するテーマを見つけ、新しいアートを生み出すアーティストとしての実力を養っていく学科です。廃材の再利用に取り組むことで作品に対する大切な姿勢が自ずと育まれていきます。

NPO法人 アーティスト・コレクティヴ・フチュウさん

アートに関わる人々やアートファンのネットワーク



地元企業に不要な部材を提供していただき、それらを表現のための創造素材として新たに活かす仕組みづくりです。アーティスト主導のワークショップを通じて、こどもや大人が素材から発想した表現活動に取り組む予定です。環境を意識したリサイクルにとどまらず、身近にあるモノを違う視点から捉える機会を重視しています。不要になったモノが創造的な学習を通じて有用な教材となり、またそれが人を育てる媒介ともなっていくようなプロジェクトを目指します。

ブースを回ってスタンプを集めよう！
プレゼントがもらえるよ！

ちょっとリアルで可愛い動物たち缶バッジをプレゼント！ 協力：MOSSA

※展示を見たりワークショップに参加した方に桑都ペイ 20 ポイント進呈！

女子美術大学

共創デザイン学科のみなさん



工業製品の製作工程で排出される端材や廃材は、見方を変えると、とても魅力的な素材です。女子美術大学の有志学生が多様な企業様からご提供頂いた廃材を使用して、バックやアクセサリーなどを制作しました。

ビーコンコミュニケーションズ株式会社

Publicis Groupe Japan/Beacon Communications K.K.さん



年間でお弁当一食分のゴミ（マイクロプラスチック）を食べているという事実。
ゴミ問題は、私たちの健康にまで及ぶ問題なのです。その解決を目指し生まれたのが「ゴミ弁当コンテスト」。

それぞれの想いのこもった素晴らしい作品がたくさん集まりました。このコンテストがゴミ問題を伝える一歩になったり、知らずのうちに誰かを笑顔にできるかもしれない。そんなあわせ循環を、私たちからつくりたいませんか？

北野学童保育所のみなさん



北野学童保育所に通う小学1～3年生が、「人も地球もハッピーな〇〇」をテーマに、廃材工作にチャレンジしました。
構想、制作期間約1か月！
自由な発想で、自分が、周りの人が、世界の人が、そして地球がハッピーになる「何か」を考えて制作しました。

それぞれの作品に説明書もついているので、ぜひ作品と一緒に楽しんでください♪



八王子現代家具工芸学校のみなさん

自らの頭で考え、自らの手で作りアート・デザイン・クラフトの要素を入れた三位一体の木製家具や木工品の製作を学ぶ学校であり、製作販売も行っている学校です。

多摩地域で伐採される杉の木を中心に木が本来持っている木目を生かし曲木や組木などの伝統的な技法や現代的な技法を用いたシンプルな木製家具・木工品を製作しております。

木の持つ温もりと木目の美しさが普段の生活を豊かにしてくれると思います。